



快挙
健康医療アワード受賞
3千品目から選ばれる



医師や歯科医を中心とした医療関係者で構成される日本健康

医療学会が、国民の健康に本当に役立つ製品を推奨するため設立した「健康医療アワード」。第6回となる今年、国内約3千品目の健康・医療製品の中からアユルチェアを含む5品目が受賞。7月8日(日)に千代田区内で授賞式が行われました。株式会社トレインの長谷川康之代表ほか、共に受賞した株式会社パナソニックエコシステムズ、株式会社龍角散などの開発者が登壇し、各社商品を紹介。環境を整える機器、健康に生きていくためのサポート食品などの、開発までのストーリーや商品に込められた思いが語られました。

授賞式終了後には、多くのドクターの方々から「すぐに使いたい!」「とてもラクな姿勢で座っていただけるイスだね!」などの嬉しいお声を頂戴しています。

アユルチェアは、2005年の発売から13年目を迎えました。これまでにもグッドデザイン賞などの栄えある賞を受賞していますが、「健康医療アワード」のような医療関連学会からの表彰は初の快挙となります。

腰痛に悩む多くの方々を始め、姿勢を改善したい方、お子様の学習イスとして、幅広くご利用頂いています。この「健康医療アワード」受賞を機に、より多くの方々の健康な身体づくりに貢献して参ります。

腰痛専門WEBマガジン「腰痛ラボ」がスタート



ゲストにアンジャッシュ渡部建も



アユルチェアが全面サポートする、世界初の腰痛専門WEBマガジン「腰痛ラボ」が5月5日にスタートしました。

きっかけは、放送作家で脚本家の小山薫堂さんがギックリ腰になったことでラジオ番組「FUTURE'S CAPE」(FM横浜)内で発足した「腰痛部」。この中で、腰痛持ち同士が語り、最新の腰痛情報をやり取りできるサロンのような場が作れな

いだろうか?という話を持ち上がった。腰痛ラボプロジェクトがスタート。

コンテンツは▼腰痛持ちの著名人を招いた「腰痛セラレブ対談」/あの人腰痛持ち▼話題の腰痛改善スポットを訪れ実際に体験する「腰痛スポット探訪/腰痛聖地巡礼」▼

製品から手作りアイテムまで、腰痛に効いた!という品を紹介する「腰痛グッズ/名品コレクション」▼医師や専門家に腰痛に関する質問ができる「腰痛Q&A/腰痛改善問答」▼思わずへえ!と言ってしまう「腰痛トリビア/これあなたも腰痛博士」▼ラジオの腰痛部と連動した「腰痛短歌/腰痛防止の三十一文字」▼腰痛つづき集「腰痛イッター!」/他人の痛みが自分の痛みを和らげる。など。



「あぐらイス」発売
寺院の本堂にも導入



身体の硬い人やヒザの痛い人でも快適にあぐらがかける新商品「アユルチェアあぐらイス」が発売。木製の脚がついた床置きタイプで、カラーは黒・赤・ベージュ・茶の4色、定価は2万4千円(税抜)。この度、浄土宗光琳寺の本堂に導入されました。お寺への導入は初となります。副住職の井上広法氏は、テレビ朝日「ぶっちゃけ寺」などで人気の僧侶。今回導入された理由として「光琳寺では、高齢者などの身体のことを考え正座禁止。あぐらイスは、誰が座っても簡単に正しい姿勢になる。座禅の感覚に似て、深い瞑想状態に入りやすい。瞑想や法要の時などに最適だと感じました。」とおっしゃっていました。参拝の方々からは「座りやすい!」と好評。



106年の歴史を誇る成蹊大学。「学生たちが、短時間で集中して学びを追求できる空間を」という大学側の強い思いから、新設された8号館にアーユルチェアースツールタイプが導入されました。

法学部教授の塩澤一洋氏は、個人的にも10年来アーユルチェアを愛用する一人。「2007年以来、研究室でも自宅でも日々腰掛けている超快適なアーユルチェア。座っている時間が特に長いとされる日本人が理想のチェアを得ればきつと健康増進に好影響を与えるはず。私自身、腰痛が解消し、自然といった姿勢で座り続けられるこのアーユルチェアを学生たちの学習環境にも取り入れた。その願いが叶いに叶えられました。成蹊学園の管財課によって学生たちの自習エリアに導入されたのです。健康と集中力の継続により、大学生の研究に一層磨きがかかることでしょう。素晴らしいアーユルチェアの開発と販売に心から敬意と感謝を表します。」とコメント。



JINSが手掛け話題の「世界一集中できる新ワーキングスペース」に導入



Think Lab

アイウェアブランドの「ジンズ」が、「世界一集中できるオフィス」を目指しプロデュースした会員制ワーキングスペース「Think Lab (シンク・ラボ)」。

禅寺を模したエントランスや、視界に入る植物の量、緑視率を計算したりラックス効果、光の量や色のコントラスト、鳥の声や川の音といった自然音のハイレゾBGMなど、様々な研究と科学的根拠から導き出された「ディーブ・シンク」に深い集中をつくるために最適な環境が用意されています。

この空間に、「集中を実現する最高のイス」としてアーユルチェアが採用されました。アーユルチェアに座ることで肩こり・腰痛などの身体的ストレスを軽減すると同時に、論理的思考を生み出すのに最適な角度が保たれます。

「集中環境を科学的につくる」。このような流れは今後、企業や学校など様々な場所に広がっていくと言われています。テレビ東京「ワールドビジネスサテライト」、フジテレビ「ザ・ニュースα」など、各社のニュース番組でも大きく特集されました。



世界的スター御用達の

ロンドンの名門スタジオに導入



エルトン・ジョン、マドンナ、ブルーノ・マーズ、リアーナなど、世界的トップアーティストのレコーディングを手掛け、数多くのグラミー受賞曲を生み出したことで知られるロンドンの「メトロポリス・スタジオ」にアーユルチェアが導入されました。ロンドンを拠点に活動するミュージシャンの布袋寅泰氏も愛用。長時間作業するエンジニアたちからも「座った途端に一瞬で姿勢を正してくれ、背中がまっすぐになっ」とも気持ちがいい」と好評。

味覚糖、三井不動産ほか 増え続ける導入企業



三井不動産



UHA味覚糖

企業のオフィスへも続々と導入されています。UHA味覚糖株式会社、三井不動産株式会社、ドコモ・サポート株式会社、FMラジオ局J-WAVE株式会社、ベルジャポン株式会社、株式会社デイトナ・インターナショナル、会員制の自習・ワーキングスペース「コインスペース」などに新規導入されました。パーソナルトレーニングジム「東京プロポーションラボ」ではトレーニングツールとして使用されています。

「働き方改革」が叫ばれる中、各企業も社員の健康や業務効率に対する意識が非常に高まり、今後もオフィスへの導入は増え続けることが予想されています。

アーユルチェアが各メディアで続々と紹介されています。

TBS「ワザビト」では開発ストーリーが放送され、大きな反響がありました。同TBSの「健康カプセル!ゲンキの時間」では、「身体への負担を軽くする大ヒットチェア」として紹介され、司会の三宅裕司さんは「脚を開くことですぐ安定する。普段からこういう姿勢が癖になれば一番いい」とコメント。

また、ラジオJ-WAVEでは別所哲也さんの「J-WAVE TOKYO MORNING」「Lilicoさんの「ALL GOOD FRIDAY」、渡部建さんの「GOLD RUSH」などの人気番組で大きく取り上げられました。

雑誌は「週刊朝日」の山田美保子さんの人気連載「楽屋の流行りモノ」、「DIME」の腰痛特集などに掲載されました。

TV、新聞、雑誌ほか
メディアに続々掲載

